

「次代を担う支援者養成研修」 1日目 (2023. 8. 19)

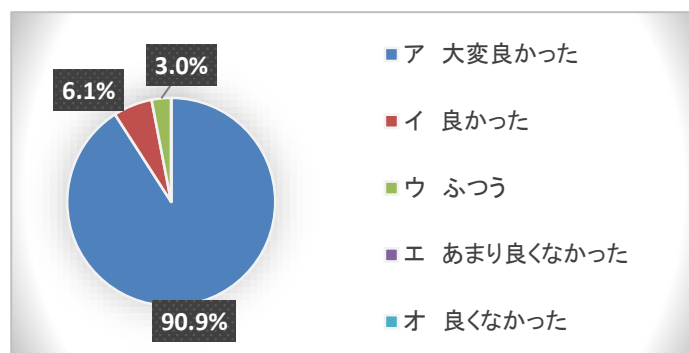
アンケート集計表

◆アンケート回答率 100% (受講者33名 回答数33枚)

問1 講義1「アウトリーチの価値と倫理」について

(1)内容について

ア 大変良かった	30	90.9%
イ 良かった	2	6.1%
ウ ふつう	1	3.0%
エ あまり良くなかった	0	0.0%
オ 良くなかった	0	0.0%
未回答	0	0.0%
計	33	



【理由】

大変良かった

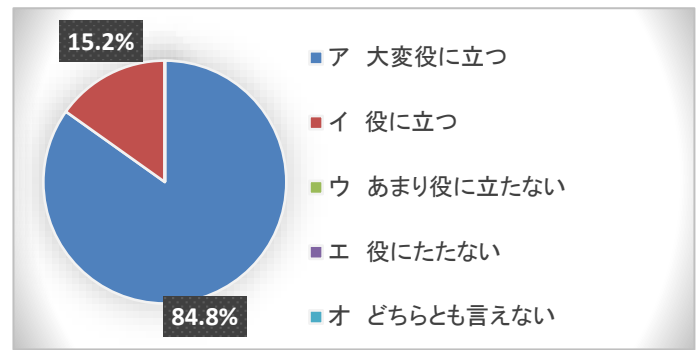
- 基礎知識としての情報がありがたかった
- 現場での支援の現実を通して具体的に説明していただき大変良かった。疑問に思っていたことも納得することができた。
- 普段聞かない「アウトリーチ」について一から学べたため
- 聞きやすかったため。110分は長すぎると思うので、間に休憩を挟んでいただいていたありがたかったです。主催の方が休憩時間のことを考えてくれているとなお良かったと思います。
- アウトリーチという言葉にあまり聞きなじみがなかったけど、分かり易くアウトリーチ、子どもの心理について学べました
- 既存の支援の課題や、新しい関わり方を知れたため
- 歴史からアウトリーチの内容が順にわかりやすかった
- 事例とともにとても参考になったため
- 不明確な意思から行う支援は、子どもを追いつめることになるリスクがあると学ぶことができたため
- 専門用語の説明から実際の活動やアウトリーチを行う際の必要な力など順番に説明していただき、大変分かりやすかったため
- 「アウトリーチ」について、定義から現在の問題点まで体験談を含めうかがい、勉強になりました
- 自分の思っているよりも、子どもたちが悩み苦しんでいる実態を知れたから
- アウトリーチについて知ることができたため
- お話が上手でわかりやすく、何が課題なのか、何が大事なのかが理解できました
- アウトリーチという言葉も初めて聞き、とても分かりやすく知ることができたため
- 福祉を学んでいる身として、専門機関ありきでの相談援助を学ぶことが多い中で、アウトリーチの実践のお話と、その価値について学ぶことができたのが良かったです
- 講義自体がたのしかった
- 講師の方のやり方、目指すところがよくわかった
- 自分自身、大学にてアウトリーチについて特に社会福祉協議会の家に向かうもの中心であると学んできた。公的支援の枠組みから除外されてしまう方々のかかわり方について知れて大変勉強になったため
- アウトリーチという言葉は知っていましたが、説明することはできない程度だったので、良い学びになりました

ふつう

- 担い手として参加している利用者への倫理観共有をどうされているか聞きたかった (現場 (夜回り) でのOJTだからでしょうか)

(2) 役立ちについて

ア 大変役に立つ	28	84.8%
イ 役に立つ	5	15.2%
ウ あまり役に立たない	0	0.0%
エ 役にたたない	0	0.0%
オ どちらとも言えない	0	0.0%
未回答	0	0.0%
計	33	



【理由】

大変役に立つ

- ・ 様々なかわり方があることが学べた
- ・ 現在、仕事で障害のある子どもたちを支援していますが、以前高校のスクールソーシャルワーカーをやっていた時に子どもたちが直面している問題が、まさに直面されている問題だったので、とても関心をもって聞くことができました。また今後、児童支援に役立つと感じました。
- ・ アウトリーチの仕方について、再確認できた
- ・ 福祉の話で、テレビやネットでは中々知ることができないため
- ・ 声かけで注意すべき点がわかったから
- ・ 人とどう関わるかについて、将来のこととあわせて考えられたから
- ・ このような関わり方について学べる機会は少ないため
- ・ 子ども・若者をとりまく環境、目線などを含め、アウトリーチに向けてのスキルが理解しやすかった。もっと学びたいと思います。
- ・ 引用等が有益であった
- ・ 自身の職業につながる考え方を得られたため
- ・ 子どもの支援を行っている身としても、どのように子どもと関わるのか改めて考え直す学びとなったため
- ・ 支援を必要としている生徒の現状やコミュニケーションの取り方が分かり、学級経営の際に役立つため
- ・ 教員として、子どもと触れ合う際、気を付ける点について気づけたから
- ・ 大学で学んでいることにつながるから
- ・ 国の主導で進めているアウトリーチが訪問支援であり、海外と違うこと、海外でのアウトリーチの役割を日本で実践しているのが全国子ども福祉センターだと知ることができてよかった
- ・ アウトリーチという活動もあるということが知れたこと自体とても役に立ったと思ったため
- ・ 現在大学4年生で福祉の分野での就職が決まっています。ただ、現場ではなく、政策側になってしまうので、現場をもっと知りたいと思っていました。政策側がアウトリーチはただの家庭訪問だと理解しては変えていけないと思うので、もっと学びたいと思います。
- ・ 自分はSWを目指しており、対象は子どもたちで考えている。実際の私の経験からその世代の支援にたずさわりたいと考えていたが、今回の「講義でその気持ちが更に強まったため
- ・ アウトリーチの方法など、実習に行く前に学べて良かったです

役に立つ

- ・ 実際の取り組みをもとに、注意点・方法等を学べたため
- ・ 自分の中で新たなギモンや気づきを得られた

(3) 印象に残っていることやご感想など、自由にご記入ください。

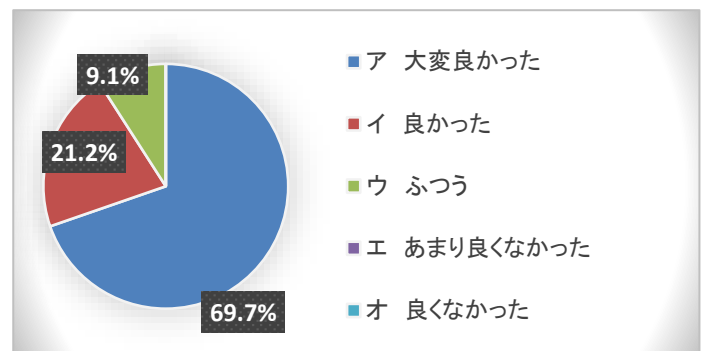
- ・ 受容の主体性
- ・ 当事者が活動していて、生きいきとしている様子が印象的
- ・ 講師の情熱のほとばしりを感じることができました。TVで見たことはありますが、実際にお会いして現場での話を聞くことができ感動しています。アウトリーチに対する概念がとても大きく変わりました。ありがとうございました。
- ・ 講義を受けて自分自身の価値観が変わりました。貴重なお話ありがとうございました。何らかの形でサポートさせていただく機会があればいいと思います。
- ・ 素晴らしい活動をされていると思いました。継続されることを願います。
- ・ 劣等処遇、という言葉が印象に残りました。先生のお話がわかりやすく、理解しやすかったです。イケメン先生!!ありがとうございました。子ども(生徒さん)と接する際に心がけたいことを学ぶことができました。「アウトリーチ」の書籍(※注 荒井講師の著作)を名古屋市図書館に入れて下さい。
- ・ 弱者だと決めつけない
- ・ 専門機関にかかっても自殺してしまう子が多くいることに驚いた。予防としてアウトリーチを行うのに、着ぐるみや声かけ等工夫をこらしており、すごいと思った。対象のことをとてもよく考えていると強く感じられた。

- ・ 児童福祉施設は恵まれていると思っていたが、そうではないということに驚きました。ト一横の子たちが「施設に行きたくない」という理由が感じられました。
- ・ 支援という言葉が軽々しく使っていたけど、よく意味を考えると、それが実践される現場は以外と少ないのかもしれないと思いました
- ・ 着ぐるみである理由が印象に残りました。私も壁を作ってしまう支援をできる限り行えるようになりたいです。
- ・ 「人間関係を深めることが幸福感に繋がる」、信頼関係の構築は人柄の大切さも感じました。
- ・ 共有財との対立軸で為政者(管理者)を置いていたこと。既得権益を手放す不安が延々と続いているのでしょうか。
- ・ 押し付ける感じにならないように距離感を考えたい
- ・ 10数年もアウトリーチを続けていること。その構成員がかつて経験していた方であること。
- ・ 私もしじめを受けた経験があり、悩みをもっていたり、苦しんでいる若者に寄り添い少しでも心が軽くなってほしいと思っているため、ぬいぐるみを持ってアウトリーチに参加してみたいと思いました
- ・ アウトリーチは予防のため、という言葉に深く共感しました。一方で、専門性をもった人間の支援についてのご見解をもっと聞きたいと思いました。専門家も、市民による協働もどちらも大切だと思います。そのあたりを詳しくお伺いしたかったです。
- ・ つながりを持ち続けていくことが大切と改めて分かった。今後に活かしていけたらと思います。
- ・ 名駅や栄など場所によって子ども達の特性が違うことが分かりました
- ・ 子どもたちを無条件に支援の対象として決めつけず、仲間として迎え入れて交流する活動は素晴らしいと感じました。援助機関としての関わりに限界があり、無理に助け出そう、上から目線になりがちな接触がいかに関手に響かないか、弱者を弱者のまま無理に変えようとせず、そのまま寄り添うことの大切さを痛感しました。
- ・ 受容というキーワード
- ・ 社会福祉の相談援助を学びながら、かなり重度になってからしか関われない現状があることがどうにかしたいと思い、参加しました。福祉のハードルの高さをどうしていけばよいのか考えるきっかけになりました。
- ・ 友人も出会ったらここに入ろうと思うのかな、と感じる。虐待を受けていることを自覚させるのが本当に大変。
- ・ 着ぐるみをする意味、相談者の7割が自殺
- ・ 子どもたちに支援者が支援する、という態勢がどうしても抜けない。そのとおりだと気づかされました。子どもたち自身に、役割を与えて子どもたちを支えるエンパワメント、自分たちで動く主体性の重要性に気づかされました。ありがとうございました！
- ・ アウトリーチがいかに大切かとか、そういう話は以前から聞いていましたが、この講演を聞いてもっと深く知れた気がします

問2 講義2「若年女性を取り巻く実態～10代20代の生きづらさを抱えている女性を対象にした居場所づくりから見てきたこと」について

(1) 内容について

ア 大変良かった	23	69.7%
イ 良かった	7	21.2%
ウ ふつう	3	9.1%
エ あまり良くなかった	0	0.0%
オ 良くなかった	0	0.0%
未回答	0	0.0%
計	33	



【理由】

大変良かった

- ・ 当NPOの活動がわかり易く説明されていた
- ・ 見えにくい「困っている女性」についての事例がわかったから
- ・ 長い時間をかけてつながりつづける、つづけられる居場所の大切さが分かった
- ・ 活動内容も含めわかりました
- ・ 今10～20代の自分にとっては、自分にも関わりのある、他人事ではないと感じたため
- ・ 見えない対象者の方を見つけることの難しさを学ばせていただきました
- ・ 居場所が複数あることの重要性に気づけたから
- ・ 若年女性に中心視点をあてていたから
- ・ 今の「若年女性」を対象としている活動について知れたことと、そこでの調査など詳しく知れたため

- ・実際にどのような悩みがあるのかを知ることができたと同時に、リストカットなどの問題行動が彼女たちの生きるために必要なことだという視点も大切だ気づくことができた
- ・若年女性の実態がよくわかった。講師の方のやり方、目指すところがよくわかった。
- ・自分の友人にもそのような悩みを抱えた子がいて、無力だった自分を責めたときがあった。でも、そのような助けてくれる人たちの存在を知れて、困難を抱える子どもたちにさしのべられるもの、手段を知れてよかった。
- ・今まで知らなかったことを知れました。リアルな声をきいて、衝撃を受けました。

良かった

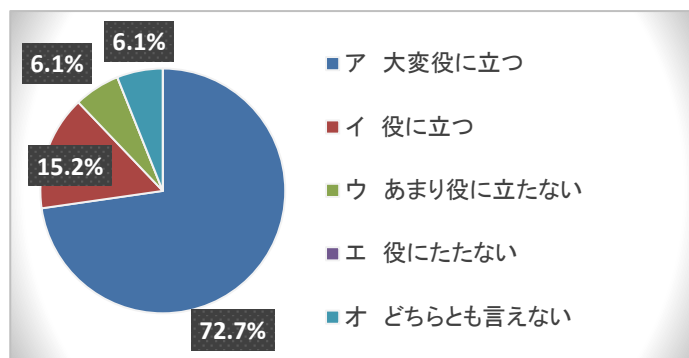
- ・居場所の提供というのは、親に言えない子にとってはありがたいことですね。
- ・女性に絞った援助について知る機会が無かったため知れて良かった
- ・知らないことが多かった
- ・見た目や表面に出ていなくても、拝啓には色々な悩みや苦しみを抱えている人は多くいることを学ぶことができたため
- ・アンケート等の紹介など生の声が聴けて現状がよくわかってよかったです。簡単ではないですが、出来ることから行動に移さなければと感じました。

ふつう

- ・支援されている子どもたちの現状や気持ちはとてもよくわかったが、その状況に対して具体的にどのような支援をしたのか、という支援者側のアプローチがよくわからなかった
- ・meguruhouseの説明がほとんどで、その仕組みを行った経緯や理由が少なかつたため
- ・WEB等で知れるような内容だった

(2) 役立ちについて

ア 大変役に立つ	24	72.7%
イ 役に立つ	5	15.2%
ウ あまり役に立たない	2	6.1%
エ 役にたたない	0	0.0%
オ どちらとも言えない	2	6.1%
未回答	0	0.0%
計	33	



【理由】

大変役に立つ

- ・女性に関する支援の色々について学べて良かった
- ・事例から、どんな声かけをすべきか想像しやすかったから
- ・自分の逃げ場をつくるための行為にどのように寄り添っていくか考えられたから
- ・このような関わり方について学べる機会は少ないため
- ・性・生に関することもあり、女性だからこその内容を学んだように思います
- ・悩みを言ってみようかなという人になりたい
- ・「性」に対しての悩みがあるときに、自分もどこに相談すればいいのか、気軽に話せるのはどこなのだろうか、ということ、考えられていなかったため、今回考えることができたため
- ・女性・子どもが相談しやすい環境づくりの方法などを学ぶことができたため
- ・女性特有の悩みに寄り添う際の注意点がわかりました
- ・大学で学んでいることにつながるから
- ・地域の居場所が減っている・・・確かに思いました。自分達が出来ることがないか考えさせられました。
- ・特に最後の私たち一人ひとりにできることについて知れたため
- ・このように現場の方のお話がなければ知ることがない現状だったので、今後を活かしたいと思いました
- ・身近に困っている子が居る。伝えてみようと思った。
- ・私は、子どもたちの気持ち、実際に自分がかかえていた困難、苦しさを忘れないように支えていけたらと思っていました。でもだんだん忘れていくことがあるため、生の声を聞く機会を得て、その気持ちを忘れないようにしていきたい。
- ・いろんな考えをもつ人がいることを知れました。自分が支援者としてどうすべきか考えるきっかけになったと思います。

役に立つ

- ・存在を知ることができたため
- ・利用できそうな人に知らせたい
- ・このような活動があると知らなかったので知れてよかった。自分の将来には役に立たなそうと感じた。

あまり役に立たない

- meguruhouseの施設説明が多かったため
- 私は男性なので女性を支援することは難しさを感じる

どちらともいえない

- 若い女性の支援については、仕事として現在従事していません
- 女の子に限らず支援したいと考えるからです

(3) 印象に残っていることやご感想など、自由にご記入ください。

- 長期的支援についての必要性。「助けて」と言ってもらえる「人」になりたいです。支援者が「助けて」といえること。
- 若い方が志をもって活動していらしてすごいなと思った
- いろいろな犯罪行為について、やめるようにどのように指導しているのか知りたかった。ただ、寄りそって話をきいているだけでは解決につながらないように思える。女性の避難場所としての役割が明確にわからなかったので、具体的なfollowについて知りたかったです。「自分を大切にする」ということをどう理解させるのかを事例を通して教えていただきたいかったです。
- 助けて!!と言ってもらえる存在になればいいと思います。まずは、あたりまえのコミュニケーションから・・・
- 年齢関係ない同じような活動があればいいと思いました
- ここでは、私の場合は学習支援ならできると思いました。きめ細やかな対応をしていて、頭が下がります。講師の話す場所が暗すぎて、先生をお顔が見づらいのが残念でした。
- 安心できる人間関係。逃げ場のある言葉かけ。支援者には相談しあえるスーパーバイザー的存在も必要であると思う。
- meguruhouseの利用者が主体となっている様子に感銘を受けた。居場所づくりをすることで、その子らしさを発揮でき、生きいきとする点はすばらしいと思った。
- 私は教員を目指しているのので、このような場があることを知っておくことで、教員の立場から居場所につなげるきっかけになるかもしれないと思いました
- どちらの講義でも「傍から見て危険でも頭ごなしに否定するのではなく、本人の気持ちを考えることで、話せる大人と見てもらえて解決につながりやすい、という話があったことが印象的でした。
- 大きな悩みを相談されるとつぶれそうになるというのは自分も経験したことがあります。どうしたらいいんでしょうね・・・
- お菓子を配ることが印象に残りました。支援(者)に対すハードルや怖さを感じさせないためには小さな工夫でも必要だと感じました。
- 見えないSOSが言い出せない背景は子どもと関わったことがある経験から共感しました
- 担い手となる利用者ではなく、支援団体スタッフの具体的な活動が知りたかった
- 学校が児童にとって居やすい場所になるよう努力していきたいと思いました
- つながりを持ち続けていくことが大切と改めて分かった。今後に活かしていけたらと思います。
- 悩みをさく姿勢を前面に出すことよりも、一緒にいること、寄り添うことの大切さがよく理解できました
- 居場所について考えたこと、様々な人の意見が知れたこと
- 困っている女性たちと同じような悩みが自分にもあったので、特別じゃないんだと気づくことができました
- 家が近ければ行っていたかもな、と思う。地域にほしかったとすごく思う。
- アプローチの仕方しだいでは、助けてをひきだせない的心得しておく
- 私は、まわりの目を気にすることが多く、それ中心に生活がまわっています。自分の本当の気持ちを打ち明ければ否定されるかも、友人じゃなくなってしまうかもしれない恐怖感があった。自分と同じ思いの女性がいることを講義で知れて、より若者世代を支えたいと思うようになりました。ありがとうございました！
- リアルな女性たちの声が特に印象的でした。また、支援者が「助けて」と言えることが大切ということは、今まで考えたことがなかったため、考えさせられました。